



## 今月の表紙

家内安全・無病息災、大切な家族や財産を災いから守る貴重なお守り「火の用心」。書いているのは黒谷の「菅家悠吾くん（4歳）」。お手伝いはお母さんの雅美さん。このお守りは地域の方や親せき、知人などに配られる。古くから伝わる正月のならわし。

## 只見町長・議会議長

年頭のごあいさつ……………2～3

皆様のご協力に感謝 第500号発行……………4～5

自然首都・只見 ブランド確立のための検討委員会 他……………6～7

町の話……………8～9

# 年頭のごあいさつ

New Year's greetings



## 自然首都・只見の復興に向けて

只見町長 目黒 吉久

初春を迎え、謹んで町民の皆様  
新年のご挨拶を申し上げます。  
皆様には、輝かしい新年を迎えら  
れたこととお慶び申し上げます。

昨年ほまさに災害に明け暮れた  
年でありました。大雪であった長い  
冬も終わろうとする三月十一日に  
発生した東日本大震災そして大津  
波は東北沿岸部の町を押し流し、多  
くの生命を奪い去りました。

さらに東京電力福島第一原子力  
発電所の事故は世界を震撼せしめ、  
原発周辺町村の人々は長期に渡る  
避難生活となり今なお帰郷の目途  
は立っておりません。一日も早く安  
心して暮らせる日が来ることを願  
わずにはおられません。

本町においても、観光・商工業を  
始め風評被害等大きな打撃と影響  
を受けました。

さらに七月の新潟・福島豪雨は全  
町的な土砂流出と大洪水を引き起  
こし、ダム放流も重なり多くの住宅  
や道路・橋梁・河川・農地・商工業者  
店舗等かつて経験したことのない  
甚大な被害を受けました。

県内外の多数の方々のご支援と  
各集落の協力を始め関係機関・業者  
等の方々力を結集し、応急復旧に

当たってききましたが、まさにこれか  
らが本格復旧・復興の始まりであり  
ます。

また、海外に目を向けますとニュ  
ージーランドの大地震やタイで発  
生した大洪水等、地球規模での大災  
害の頻発が見られます。

政治経済においてはEU諸国に  
おける財政危機の拡大は相次ぐ政  
権交代を引き起こし、北アフリカ・  
中東諸国は「アラブの春」と呼ばれ  
る民主化の波が押し寄せておりま  
す。

国政においては、次年度の予算が  
示されましたが、震災復興という大  
事業を抱える中、内政・外交ともに  
混乱の度合いが深まっています。

このような中、町政におきましては  
復興の基本理念に

一、将来にわたって安心して暮らす  
ことができる安全な地域づくり。  
二、活力ある社会経済の再生。  
この二つを据えて取り組んでまい  
ります。

特に活力ある社会経済の再生に  
つきましては、その実現のために「自  
然首都・只見」ブランド確立のため  
の検討委員会を立ち上げました。

本町は「ブナと生きるまち、雪と暮

らすまち」を理念に復興計画を策定  
し、平成十九年には、「自然首都・只  
見」を宣言しておりますが、多くの  
町民の参加と共通した認識の広が  
りのある具体的な取り組みまでに  
は至っておりません。

グローバルが進む中、今回の復旧・  
復興を機に、人と自然と暮らしの関  
係を見つめ直し、只見ならではの地  
域としての価値を高め、築き上げて  
ゆくことが大切であります。

この前提があつてはじめて集落  
の地域活動や、農業を含めた地域の  
担い手が育ち、只見にふさわしい農・  
商・工・観光の絆も生まれてくるも  
のと思えます。

保健・医療・福祉の充実について  
は、常勤医師四名体制を維持すると  
ともに、地域のニーズを把握しなが  
ら関係機関の連携による地域包括  
支援システムの構築を図ってまい  
ります。

また、心配されている放射性物質  
対策につきましては、線量測定器と  
検査体制に十分配慮し、地元産品の  
安全性のアピールと、子どもたちは  
もとより健康被害に対する心配を  
払拭してまいります。

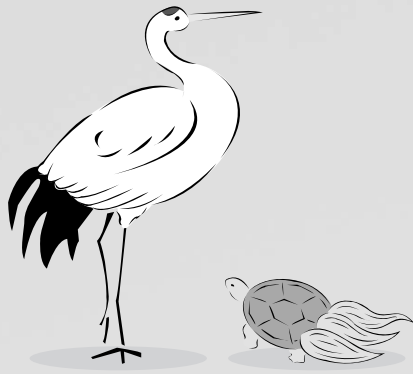
教育の推進につきましては、学力

向上とともに逞しい精神と身体を  
備え、自己実現を達成できる「只見  
っ子」の育成に取り組むとともに、  
地域人材育成事業も順調に進み三  
期生を迎えておりますが、地域との  
関わりの中で新たな目標を設定し、  
挑戦する人材の登場にも期待がか  
かります。

役場庁舎、只見総合開発センター  
及び旧只見中学校の利活用につい  
ては既に答申を頂いておりますが、  
今回の災害経験を踏まえ、安全・安  
心な町づくり及び防災対策拠点と  
しての庁舎整備の指針を明示して  
まいります。

災害復旧に目途が立つまでは皆  
様には不便・不安・経済的痛手が伴  
いますが、職員一丸となって町民の  
皆様から期待される地域復興を目  
指し、全力を傾注して参る所存であ  
りますので町民各位のご理解とご  
協力をお願いします。

結びに平成二十四年が皆様にと  
りまして素晴らしい一年になりま  
すようお願い申し上げます。年頭のご  
挨拶いたします。



# 開かれた議会を目指して

## 只見町議会議長 五十嵐 拓

只見町議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、東日本、福島県そして只見町民にとりましては、多くの苦難に見舞われるという、決して忘れることのできない年となりました。

三月十一日に発生した東日本大震災による大津波は、各地の沿岸奥深くまで達し全てを破壊し、多くの方々が被災されました。

また、東京電力福島第一原発の被害事故は想定をはるかに超え、現在も約十五万人の方が県内外に避難されています。

本町においても風評被害などの影響を受け、観光サービスマス業を始めとする町全体に大きな打撃となりました。

さらに、七月二十九日の新潟福島豪雨は、未曾有の大災害となり、本町では、大小河川等からの土砂流出や大洪水がダム放流と重なり多くの家屋・農地等に甚大な被害となりました。

町当局は、復興計画を作成し、国県と連携を図り、その対策と復旧に努力されておりますが、早期に復旧復興が成し遂げられますよう議会と致しまして最大限対応してまいりたいと考えております。

町内外ともに厳しい状況下にあります。若者たちが魅力を持ち、活力溢れる地域社会への復興実現が、何よりも肝要であります。

国内外に目を向けてみますと、ユロ圏の財政危機は依然として改善が進まず、基金対策が課題とされるなか、タイにおける長期の水害は進出日本企業にも多大な損失となり、日本経済への影響が少なくない状況にあります。

一方、我が国の政治面では、民主党政府に変動が起き、八月に野田新首相が誕生しておりますが、「ねじれ現象」等により、多くの法案が未解決状態にあるなか、ようやく復興庁設置法が成立致しましたが、発足が急がれています。

町政においても、復興対策に追われる一年となりましたが、多くの方々を支えられ、「復興実現」に向けて全町民が前を向き力強く歩み始めるとともに、「希望」の火が高く明るく

灯されつつあります。

このように厳しいなか町下野球場がオープンし、また、明和小学校は第二十九回福島県建築文化賞を受賞され、さらに只見町学校給食センターは初参加の第六回全国学校給食甲子園において見事入賞を果たし、学校関係者や全町民にとって大変喜ばしい吉報となりました。

只見町は、『ブナと生きる町・雪と暮らす町』の理念のもと、協働による町づくりを進めてまいりました。

「自然首都・只見」を世界にアピールすべく、認知度を高めるための事業が進められており、ブナ原生林など自然資源の保護と活用による町づくりが期待されております。

先人の教えに「健全な監視者のいない組織は、道を誤る」とありますが、このことは、公共団体、企業、組合など全ての組織に当てはまるものと思っております。

町議会と致しましては、二元代表制の一翼を担う立場として、行政を監視・牽制するとともに各般の提言を行うなど、その役割を果たしてま

いりました。今後、町民の皆様とのつながりを大切に、皆様の声に耳を澄まし、その声を施策に反映していくことが益々重要になってまいります。

昨年の三月会議から、「通年議会制度」を導入するなど、「町民が参画できる開かれた議会」を目指し、「議会改革推進特別委員会」を中心に協議を重ね、議会の改革・活性化に力を入れてまいりました。今後、議会基本条例の制定に向けて検討を行うなど、開かれた議会の推進に取り組んでまいります。

町議会は、行政を担う両輪の一端であることを肝に命じ、皆様方の意思を尊重し、只見町の更なる発展のため精神誠意、議会活動に身を挺するとともに、地域行政発展の礎となるよう、献身の努力をする覚悟であります。

どうか、皆様の御支援と御協力をお願い申し上げます。結びに、本年が実り多い年であり、ご挨拶と致します。

ご挨拶と致します。

「広報ただみ」が昭和45年4月30日に「ただみ町政だより」としてスタートし、皆様のお手もとに配布されてから、今月号で第500号となりました。

この間、町政、政策、施策、町の話など、様々な町の動向を皆様にお伝えしてまいりました。

取材にご協力いただいた皆様、情報提供いただいた皆様、また、各コーナーに寄稿くださった皆様、そして制作に携われた皆様に感謝いたします。ありがとうございました。これからも、皆様のご意向にお応えできる伝わる広報を目指し、紙面づくりに努力してまいります。よろしくお願いたします。



第500号を記念し、過去に発行された第200号、300号、400号の中で掲載された3名の皆さんにインタビューをしましたので、ご紹介します。(第100号には、インタビューの対象者がおられませんでした。ご了承ください。)

- ①只見町に期待することは…？ ②広報ただみに期待することは…？ ③今年はどうな年に…？

広 報 た だ み 昭和62年1月10日発行 (10)



楽しかった交流会

私は、今回「若人の翼」という機会に恵まれました。私達の主な訪問国は、ハンガリーとフランスでした。ハンガリーは、社会主義国、フランスは、自由主義国なのでヨーロッパで異なる二つの社会体制を体験するというその点では、ユニークで、また意

**目黒やえの**  
**ヨーロッパの旅日記 (I)**



県主催の若人の翼に上福井の目黒やえさんが十月十七日から、欧州を訪問、国際理解を深めて三十一日、帰国しました。今月から数回にわたり諸外国の様子を報告していただきます。

十月十七日(金) 小雨  
東京→アンカレッジ  
→ロンドン  
私達欧州IIコース、一行二十名は、上野駅構内「翼の像」前集合。夜九時 成田北ウィング表示板前にて出発式を終え、ゲートイン。期待と不安

義あるコースであったと思います。そしてその前には、ドイツのベルリンで西と東に一直線泊すつし、その違いをわずかにあるが、肌で実感しました。他国を見聞することによって、良い事も、悪い事も含めいろいろな角度から日本、福島そしてこの地域を見直すことができたような気がします。行動日誌を片手に感じたことを加えながら日を追って報告していきたいと思えます。

に胸をふくらませた若人達を乗せ、JAL421便は、十二時三十二分離陸。アンカレッジ経由 ロンドンへ。機内では、飛行機の最前頭部、操縦室に入るチャンスを得る。あのジャンボジェット機を操る、人間では大脳にあたる部分である。しかし思っていたより小さな室内であったが、とにかく、まわりは、どこを見ても、装置やレーダーでビカビカ光りまるでマンガの世界のようだった。すてきな外人さんがパイロット、副パイロットは日本人、そしてその後ろにエンジニアだという知的な青年がいた。私達は中々、ビデオや写真を撮りながら、質問をし、詳しい説明を受けた。

十月十八日(土) 曇  
ロンドン→ベルリン  
六時三十九分、ロンドンヒースロー空港到着、さすがに霧の都。空港の路面が霧の為濡れていた。八時頃、ようやく夜が明ける。西ベルリンへ。

(記事の一部を紹介)

第200号・昭和62年1月発行  
三瓶 やえさん(大倉) ※旧姓・目黒



①私は農業を生業として生活しています。只見の資源、土、水、空気、雪、気候その全てが自然の恵みでありおいしい作物の源となっています。さらに素晴らしい人材が私たちの経営を支えています。ここ只見の持つ力、「只見力」は第一に只見人の持つパワー、人間の魅力でありそれに続くのが自然の恵みであると常々考えます。地理的にこの上無く不利なこの只見で「只見力」をいかに活かし只見町を生かすか、農業だけでなく、只見町民また只見に心を寄せている多くの人が振り向き起業、企業がどんどん生まれ育ってくれることを強く望んでいます。原発問題もあり多難な福島県で今こそふんばる只見町でありたい。その実現のために行政のバックアップは万全であってほしいものです。

②発信メディアであると同時に町民の考えや思いを拾い伝える情報源であってほしい。

③風評被害等に対する不安は、今年も続きますが自分たちができること、すべきことに真摯に取り組んでいきたい。愛情と責任を持って「おいしい笑顔を皆様にお届けできるように」がんばっていきます。

# 皆様のご協力に感謝 第500号発行

## バックナンバーをちょっとピックアップ

### 第300号・平成7年5月発行 ～五十嵐 ゆかりさん(黒谷)～



①只見にしかない、ここでなければ手に入らないような只見町のブランドを考えてほしいです。なかなか難しいとは思いますが。

②今までの広報もいいのですが、コーナーを設けて、町内のあらゆる企業の紹介なんかもいいと思います。ここは、こんなことをやっているんだとか、こんなことをしてくれるんだとか、再認識できると思います。

③まずは健康第一です。仕事でも遊びでも健康でなければ、迷惑をかけたり、つまらなかつたりします。あと今年に限ってはいないのですが、日々勉強と発見です。些細なことでも知れば面白いですから…。

#### 深沢温泉 交流促進センター

#### 愛称募集入選作決定！

只見町が地域活性化策の一環として建設を進めている「只見町交流促進センター」の愛称募集の入選作が決まりました。入選作と作者は次の方々です。皆さんもぜひ覚えて下さい。

#### 最優秀作品

「季の郷」

#### 佳作

「湯ら里」

#### 佳作

「ゆきんこ」

#### 表彰式で感謝状贈呈

愛称の募集は、①親しみやすい名前をつけてもらうことによる利用の促進。

②施設のイメージアップを目的としたもので、新聞や広報等で募集したものです。

この募集に対して、町内外から二九六名に及ぶ応募がありました。この中から最優秀作品一点、佳作二点が選ばれ、その表



表彰式が四月七日に役場で行われました。

渡部完爾町長から一人一人に感謝状と報奨金が贈られた後、しばし意見交換が行われました。この中で、最優秀作品に選ばれた斎藤田鶴多さんの代理で出席された斎藤清江さんは「四季折々いろいろな楽しみ方ができる只見町、この施設がその中心になってくれれば」とお話しされていました。

今後は、この施設の名称は「季の郷 湯ら里」、レストランの名称が「ゆきんこ」となります。

### 第400号・平成15年9月発行 ～横山 悟さん(黒谷)～



①2011年7月の災害の経験を生かした復興をしてもらいたい。只見町らしい景色と自然を残していってほしいのと自然を生かした町づくりを進めていってほしいです。

②500号おめでとうございます。これからも町民に接した紙面づくりを期待しています。

③月並みですが公私共にバランスよく充実した一年にしたいと思います。自分の立てた目標に向かって地道でもいいので一歩ずつ結果を残せたらいいなと思います。今年はいい一年にしたいです。



横山 悟さん  
(黒谷・24歳)

「思ったような色の花が咲いたとき、やりがいを感じます。」と話す悟さんは、農業に従事しています。只見高校を卒業後、2年間の会社勤めを経て今は、カラーやリンドウ、カスミンなどの花き栽培に取り組んでいます。両親も農業ですが、花き栽培は悟さんが中心になってやっています。今年ハウスも4棟に増やしました。「自分の作った品種を市場に出せるようになりたい。」と大きな夢を持っています。

趣味は釣り。釣りは黒谷川や田子倉湖に行きますが、大物狙いというよりは、のんびりと釣り糸をたれている時間が好きなのだということです。只見の良いところは、やはり自然が豊かなことだと思います。只見町に望むことは、という問いには「良い意味でもっと有名になって欲しい」ということです。

24 さわやか  
登場さん

「自然首都・只見」ブランド確立のための検討委員会委員名簿

〔順不同・敬称略〕

任命区分	役職名	氏名
学識経験者	新潟大学農学部生産環境科学科教授	有田 博之
	森林総合研究所森林遺伝研究領域生態遺伝研究室研究員	金指 あや子
	神奈川大学経済学部経済学科教授	佐野 賢治
	東京農工大学農学部教授	福嶋 司
関係団体の役員	関東森林管理局会津森林管理署南会津支署長	中島 朝長
	福島県南会津地方振興局県民環境部長	伊藤 望
	只見町商工会事務局長	目黒 長一郎
	只見町文化協会会長	飯塚 恒夫
	ブナセンター友の会代表	小沼 昇
	只見の自然に学ぶ会代表	新国 勇
	只見町教育委員	馬場 都美
町代表	只見町副町長	久保 克昌

任期:平成23年12月13日~平成24年3月31日



▲一般に公開された委員会

新潟・福島豪雨災害からの復興事業  
第1回「自然首都・只見」ブランド確立のための検討委員会

豪雨災害からの復興の基本方針の理念である「活力ある社会経済の再生」を実現するための事業として、12月13日に季の郷湯ら里で第1回「自然首都・只見」ブランド確立のための検討委員会が開かれました。

委員長の選出で、委員長に有田博之新潟大学農学部生産環境科学科教授が、副委員長には只見の自然に学ぶ会代表の新国勇さん(只見)が選ばれました。

会議では、これまでの経過として、世界ブナ・サミットを2回開催したことや、平成19年7月27日に開かれた、子どもブナサミットにおいて「自然首都・只見」を宣言したことなど、ブナ林を活用した主な事業の説明が事務局よりあり、只見の自然のブランド確立について意見交換が行われました。

全体意見として、ユネスコ・エコパークを戦略のひとつに考える。自然と人(住民)との結び付きをPRする。キーコンセプトをつくる。自然保護と活用をミックスして考える。今回の災害も含め利活用を考える。都会人は本物の自然が好きであり、上手くPRすればリーダーがでる。などの意見が出されました。今後も数回の検討委員会が行われ、3月中旬に各委員の意見が集約された提言書が町に提出される予定です。なお、委員の皆さんは名簿のとおりです。

役場庁舎建設基本計画案示す  
町政懇談会

12月20日に、只見地区センターで町政懇談会が開かれ、町民の方約50名が参加しました。

目黒町長のあいさつに続き、役場庁舎建設基本計画の案が、設計などを担当する環境システム研究所(東京都)の方から示されました。その後の質疑応答では、どこに建設するのかという質問に目黒町長は「只見町地域計画における基本方針のとおり進める考えは変えていない。現庁舎の敷地内に建設を考えている」と答えました。その後も様々な意見が出され、最後に目黒町長は「町民のための役場というイメージを大切に工夫し考えていく。今日の意見を考慮し、さらに検討を重ね計画する。取り進むにも時間を要するが、順次進

めていきたい」と考えを述べ、参加者からは、久しぶりに夢の話が聴けて出席して良かったという声もありました。充実した懇談会となりました。



▲あいさつをする目黒町長

教育委員に  
辞令交付



只見町議会12月議会において教育委員の選任に同意がなされました。

新教育委員には、1月5日付けで角田行雄さん(63歳・小林)が就任しました。

角田さんの任期は、平成24年1月5日から平成28年1月4日までとなります。

就任にあたって角田さんは、「只見町の教育事業振興のために頑張りたいと思います」と抱負を話されました。



磯部ヲエンさん(只見)

11月30日に目黒ハツノさんが、12月7日に皆川タカネさんが、12月9日には磯部ヲエンさんが満百歳の誕生日を迎えられ、同日に知事賀寿贈呈式がグループホーム和の里や自宅で行われました。

はじめに近内保二南会津保健福祉事務所長から知事賀寿と記念の木杯が贈られました。続いて、只見町、町議会、町社会福祉協議会、町老人クラブ連合会、各地区老人クラブなどから記念品などが贈られました。また、親族の方などからは、お祝いの花束も手渡されました。皆さんの長生きの秘訣は、好き嫌いなく食べること。とのことでした。

百歳賀寿おめでとーうございます



目黒ハツノさん(黒谷)



皆川タカネさん(楢戸)

## 实用英語技能検定・準2級合格 菊地 美結さん(明和小6年)



▲菊地美結さんと馬場永好明和小学校長

明和小学校6年の「菊地美結さん」が、日本英語検定協会が行う平成23年度第2回实用英語技能検定で準2級に見事合格しました。一次試験が10月16日に、二次試験は11月13日に、いずれも会津若松市で行われました。英検の準2級は一般的に高校中級レベルとされ、合格率も35%前後と、小学生が合格するには厳しいレベルですが、菊地さんは、平成22年4月から学校の授業に加え、週2回英語塾で勉強、着実に実力をつけ英語を習い始めてわずか1年半程度での合格となりました。菊地さんは「二次試験の面接で英語を話すことが難しかった。勉強は大変だが準2級に合格できてうれしい。次回1月中旬に行われる試験で2級にチャレンジします」と目を輝かせ、元気に話しました。

## 7月豪雨災害で孤立した集落などに配備

### 衛星電話や簡易発電機

7月29日に発生した豪雨災害で孤立状態になった地域や孤立の可能性が高い集落に対し、非常時に対応するための衛星電話と、さらに家庭用カセットボンベ2本を燃料に発電可能なガス式簡易発電機が配備されました。配備された集落や地区は、塩沢、寄岩、蒲生、八木沢、入叶津、黒谷入、塩ノ岐、布沢の8集落(地区)です。各対象集落の区長の皆さんに対しての説明会も、12月9日に役場本庁で行われました。



▲配備された衛星電話と発電機(右)

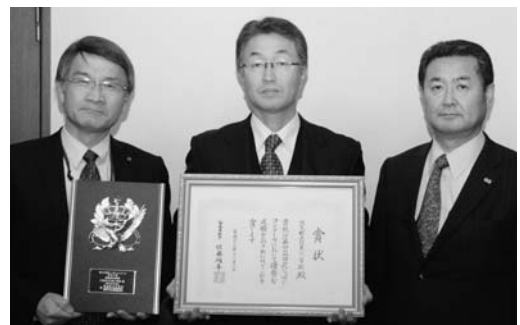
7月の豪雨災害にも負けず花壇をみんなで管理  
只見小学校・花いっぱいコンクール福島県知事賞受賞

福島県緑化推進委員会などが主催する第44回花いっぱいコンクールにおいて、只見小学校が団体の部で福島県知事賞を受賞しました。

只見小学校では、児童・教職員・保護者が一丸となり、同校の花壇をはじめ各地域に整備されている花壇の世話をし、緑化と教育環境の美化を推進しています。平成23年度の取り組みでは、7

月29日に発生した豪雨災害の影響で、夏の暑い時期に思うような活動や花の世話ができず、苦勞しましたが、児童をはじめみんなが例年以上に協力し、諦めずに世話を続け花の終わる時期まで彩り豊かな花壇が楽しめました。

自然を愛し保護する心を養う  
このような活動が高く評価され、今回の受賞となりました。おめ



▲賞状を手にする高橋吉博只見小学校長と目黒町長(右)、齋藤教育長(左)

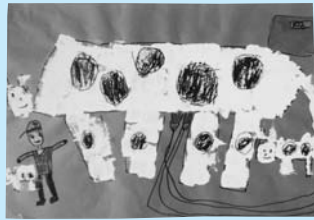
でとうございます。

## 只見 FCT 児童画展 見保育所の 2 名が特別賞受賞

福島中央テレビが主催し行われた第32回 FCT 児童画展において、只見保育所の「羽染治輝くん」が描いた「うしさんのミルク」が福島民友新聞社賞に、同保育所の「酒井伶斗くん」が描いた「うしをみにいったよ」が福島県教育会館理事長賞に選ばれました。この児童画展への応募作品数は10,367点で、様々な特別賞75点の中の2点に選ばれたものです。この作品は世界児童画展にも出品されます。



▲ 福島民友新聞社賞の羽染治輝くん



▲ 「うしさんのミルク」



▲ 福島県教育会館理事長賞の酒井伶斗くん



▲ 「うしをみにいったよ」



# サンタさんもきたよ! クリスマス会



カルガモクラブ (12月9日)



あさひこども教室 (12月15日)



ただみこども教室 (12月19日)



めいわこども教室 (12月20日)







# 町の話

皆さんからの身近な情報をお待ちしています。ご意見ご要望もお気軽にお寄せください。  
総務企画課 ☎82-5210 Fax 82-2117

## 只見スキー場オープン式 シーズン中の安全と温かなサービス誓う

只見スキー場のオープン式が12月22日に只見スキー場のロッジで行われ、関係者18名が出席しました。(株)会津ただみ振興公社代表取締役社長の目黒町長が「皆さんに喜ばれるようスタッフ一丸となり頑張ります」とあいさつし、菅家俊一町商工会長が祝辞を述べました。その後、安全を祈願し目黒長一郎町体育協会長の音頭で献杯が行われ、目黒町長ら関係者のテープカットで、オープンしました。



▲ 安全な運営を願いテープカットする目黒町長（左から3人目）

## 地域づくり総合支援事業 こころの復興民話祭



▲ 小林早乙女踊りを披露する保存会の皆さん

NPO語りと方言の会が主催し、西部プラザ駐車場（郡山市）で11月26～27日に行われた「こころの復興民話祭」に、只見町から「小林神楽と早乙女踊り（堀金俊彦保存会長）」も出演しました。この催しは、人と人との絆やコミュニティの復活、地域のこころの文化遺産の復活を目指し、震災などからの復興を願い開かれ、東北六県と新潟の語り部による昔話や福島県内の民俗芸能が披露されました。

## 自然を描く心と技 第14回ブナセンター講座

第14回ブナセンター講座が、12月11日に、ただみ・ブナと川のミュージアムで開かれ、29名が参加しました。講師の平田美紗子さんは、国有林を管理する森林官でイラストレーターとしても活躍。平田さんは、自然の魅力を伝えながら、学術的にも正確なイラストを描くことの難しさを、失敗談を交え楽しく講話しました。平田さんのイラストは3月25日まで、同ミュージアムで展示されています。



▲ イラストの説明をする平田美紗子さん

## 只見中学校道徳教育特別授業 民の方の知恵を習得しよう！



▲ 南山御蔵入騒動について詳しく伝える飯塚恒夫さん

只見中学校では、町内在住の方を講師に招き、経験談を聞いたり、知識を学ぶ「道徳教育特別授業」を行なっています。この授業は各学年ごとにテーマを決め行われる授業で、1年生は郷土愛について、2年生は勤労の尊さや意義について、3年生は郷土の歴史について学びました。12月1日に行われた3年生の授業では、飯塚恒夫さん（坂田）の南山御蔵入騒動の話にみんな興味深く耳を傾けていました。

# Anna先生のLife in JAPAN Vol.12



■Anna・George  
 ・1987年生まれ。英国ノーフォーク出身。  
 ・2010年8月から只見町英語指導助手。  
 ・小学校と中学校で語学の指導を行います。

今年も只見が12月中旬に、早くも真っ白な世界に包まれてしまったことに、驚かされました。とてもきれいな景色だと思えます。冬休みはアメリカに行き、友達の家と一緒に過ごします。只見に戻ってくる頃には、たくさん雪が積もっているんですね。

12月は小学校でクリスマスのレッスンをしました。とても楽しかったですし、子どもたちも楽しんでいました。今回の写真は明和小学校の1年生と作ったクリスマスカードです。上手に英語が書いていて、びっくりしました。



只見中学校の3年生は入試に向けて日々奮闘中です。3年生のみなさん、ベストを尽くせるよう、勉強がんばってね！

春に私の家族が日本に来ます。家族に会うことが楽しみです。何より、日本を案内できることに今からわくわくしています。家族はゲーデニングや自然が好きなので、きつと日本の美しさに感動することでしょう。

みなさん、新しい年がスタートしました。今年もよろしくお願ひします！

(訳・只見中・福地)

## 広報ただみ診療所

朝日診療所

医師 菅家 智史

### 『こぶし苑とリハビリテーション』

新年明けましておめでとうございます。昨年は東日本大震災、豪雨災害と、大変な1年でした。今年は皆様にとつて良い年になりますよう、お祈り申し上げます。

さて、私は朝日診療所の医師として勤務しておりますが、只見町の介護老人保健施設こぶし苑の施設長も兼任していますので、今回はこぶし苑の話をしたと思います。

こぶし苑は、法律上「介護老人保健施設」という施設で、本来は「体調変化の後、家庭生活するための準備、調整を行う」ことが目的の施設です。そのため、他の施設と比べて看護職員が多い、リハビリテーション職員が必要、という特徴があります。こぶし苑には、リハビリテーション担当職員として作業療法士が3名勤務しています。日々利用者の皆さん、ご家族の皆さんと相談しながら、運動・作業などリハビリテーションの内容を検討しています。リハビリテーションと聞くと専門の人

にしかできない、と思われがちですが、日頃の生活で意識的に動くことや、利用者さんができる内容に合わせた役割を担ってもらうこと、積極的に会話することも生活の中でできるリハビリテーションです。ご家族や近所の皆さんにも参加・協力いただき、利用者さんがいきいきと生活できるように考えてまいります。

最近、こぶし苑の利用希望の方が急激に増えており、希望の皆様全員にご利用いただけないこと、施設長として大変申し訳なく感じております。施設に制限はありますが、安全に少しでも多くの皆様にご利用いただけるよう、こぶし苑でも検討を重ねてまいります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

最近、こぶし苑の利用希望の方が急激に増えており、希望の皆様全員にご利用いただけないこと、施設長として大変申し訳なく感じております。施設に制限はありますが、安全に少しでも多くの皆様にご利用いただけるよう、こぶし苑でも検討を重ねてまいります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

只見町は人口5千人弱、高齢化率(65歳以上人口の割合)が40%を超える、超高齢化社会です。普段私が外来でお会いする65歳以上の方々には元気に過ごしていらつしやる方も多いですが、人間は不老長寿ではいられませんので、加齢により筋力・体力・知的能力が低下すること、後遺症を残す病気にかかることが増えて

きてしまいます。介護サービスの役割は、様々な生活上の不自由さが残っていたとしても、その人らしく生活するためのお手伝いだと私は考えています。

こぶし苑は、法律上「介護老人保健施設」という施設で、本来は「体調変化の後、家庭生活するための準備、調整を行う」ことが目的の施設です。そのため、他の施設と比べて看護職員が多い、リハビリテーション職員が必要、という特徴があります。こぶし苑には、リハビリテーション担当職員として作業療法士が3名勤務しています。日々利用者の皆さん、ご家族の皆さんと相談しながら、運動・作業などリハビリテーションの内容を検討しています。リハビリテーションと聞くと専門の人

# 町史

## とっておきの話

210

洋画家 渡部 等

### 只見警女夜話(最終回)

#### 警女からのヒント

水上勉の作品に『はなれ警女 おりん』という小説があります。警女は男性と交わると、おきて破りの罰を受け組織から追放され、何の保証もない乞食警女になります。それをはなれ警女と言いました。そうなると大概は男にだまされて売り飛ばされるか、行き倒れるかというさらに悲しい末路が待っていたのです。同じく『越後つついし親不知』という小説がありますが、これとはなれ警女が産んだ娘の悲しいお話です。

昨冬、警女の記録映画を永年にわたって撮り続けてきて、そのDVDを発売した伊東喜雄監督から話を聞きました。

門付け旅と一緒にいって行ったら、門付け先の家人が心付けのお米を持っていて、警女に「何人だ」と聞いたそうです。三人なのにどうして人数を聞くのかと不思議に思ったら、家で病氣

で寝ている老警女の分、留守番の子ども警女の分をも含めて何人いるのかという意味で尋ねたとのこと。五人と答えると、「そうか五人分なあ」と言つて、小皿で五杯分をすくつて袋のなかに入れてくれたそうです。「あのときは感動して心が熱くなったなあ。これこそ正に福祉の原点だな」と涙が流れたそうです。実によい話ですね。ずっと人間以下の扱いをされ続けてきた彼女たちにもそうした待遇を受けたいこともあったのです。

さて、今月号で警女の話も最後になってしまいました。私は彼女たちのことをいろいろ調べてきて、それを単なる思い出話にするつもりはないのです。現代人との兼ね合いにおいて、警女たちの存在をあまり消えさせないで、生きがいが現代に生きる我々にどういう波紋を投げかけるのかを問うてみたいのです。そこにこそ警女を知ることの意味があるのです。

先年、小林多喜二の小説『蟹工船』が若者の共感を呼び、爆

発的に読まれたそうですが、そのことはいつたいた何を物語っているのでしょうか。浮かれた時代が去り、夢の持てない、報われることの少ないワーキングプア、就職難民、そしてストレスのかけ場を失って徐々に心を病んでいく人々。そんな時代のうめきの一現象ではないのでしょうか。

然が一度牙をむけば、一瞬のうちにはすべてが藻くずのごとく消えてしまふはかない存在なのです。そう考えれば、我々は一人ひとりみんな警女と同じ人生という、か細い道を歩いている存在だと思に至るのです。そして何より、彼女たちのようにたくましく生き抜かねばなりません。警女は消えましたが、ストイックな彼女たちの精神やそれを支え続けた日本人の心はしっかりと現代人に引き継がれていくべきだと強く思うのです。



夏の門付け(渡部等・絵)

# 町民文藝



## 只見短歌会

十一月詠草

大塚栄一

指導

亡き母の思ひ深しも雪の日にはや一周忌のはがきが届く  
古川 英子  
 十余年も障害の身を周りより勞られつつ米寿を迎ふ  
吉津 政枝  
 被災地に語りし人の思ひ深しあの日あの時映像に入る  
関谷登美子  
 温泉地より来し客か道聞きて頭下げつつ振り返りゆく  
齊藤ちひろ  
 足の爪切るに時かけれるわれを見かねて姪が代りてくれぬ  
五十嵐英子  
 夜すがらの風に庭木の葉は散りて遠くの山々くつきりと見ゆ  
馬場 八智  
 深雪の兆しと言はる亀虫は温き日和の窓に群がる  
渡部ゆき子  
 会ひたくて汝が名幾度も呼びしとふ姉の細りし手を握りしむ  
五十嵐夏美  
 初袋日向に広げ穴明きのあるかなきかを入念に見る  
目黒 富子  
 尾瀬の山の深さに一樹咲くと言ふやうらくの花焦れて久し  
角田 一男  
 収穫の豆打つわれを珍しと言ひつつ夫は側通り過ぐ  
渡部ヨリ子  
 わが家も災害大きに消防の孫は休まず集落廻る  
新国 洋子

(出 詠 順)

## 只見俳句会

十二月例会

目黒十一

指導

指先の冷たきぬめりナメコ採る  
一 穂  
 冬囲う庭木の細木整然と  
礼  
 大型車の風圧を浴ぶ寒さかな  
邦 男  
 歳晩や大豆炒く香に包まれて  
邦 男  
 凧や登る階段十三十四  
邦 男  
 冬日和園児の慰問白虎隊  
吉 児  
 元朝や階前松の雪化粧  
吉 児  
 初明り中寿に生きる至福かな  
隆 堂  
 修羅の世や山茶花うすき紅ひそと  
隆 堂  
 峯高き立枯松や山眠る  
邦 夫  
 今朝の冬心は未だ追へつけず  
邦 夫  
 何時となく静かに眠る背戸の山  
康 女  
 真向いばふいに淋しき枯木山  
康 女  
 新雪の一夜に積る深さかな  
笑 羊  
 電飾のちよっぴり外の空き交番  
笑 羊  
 雪となる雲あげている噴火口  
笑 羊  
 数へ日や賀状書く手に木々の揺れ  
リウコ  
 賀状書き多災の年をふりかへる  
都  
 車椅子人の温情師走中  
都  
 山あれど谷あれど今冬茜  
洋 子  
 紅絹袴巫女手袋の白さかな  
洋 子  
 秘密なし両手ひろげて年迎う  
恒 夫  
 父の倍も生きて晩学初旬会  
恒 夫  
 朗々と姿見せざる初鵜  
恒 夫  
 買物の上へのせある松飾  
一 灯  
 年越の蕎麦打つ音のかるやかに  
一 灯  
 水滴の気になる蛇口冬至かな  
又 巻 歩  
 南瓜切る厨に孫の声高し  
又 巻 歩  
 避難所の人影消えて冬来る  
修 一  
 いにしいの母の角巻き大なれや  
修 一

# 今月のお知らせ

## 電話番号

総務企画課	
総務班	☎82-5050
企画班	☎82-5210
町民生活課	☎82-5220
税務班	☎82-5110
町民班	☎82-5100
保健福祉課	
保健班	☎84-7005
福祉班	☎84-7010
産業振興課	
農林班	☎82-5230
交流推進班	☎82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎82-5270
生活環境班	☎82-5280
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
訪問看護ステーション	☎84-2130
こぶし苑	☎84-2101
保健福祉センター	☎84-7005
只見地区センター	☎82-2141
朝日地区センター	☎84-2111
明和地区センター	☎86-2111

## 税 今月の納期

- 1月25日までに納めましょう
- 町県民税(4期)
- 固定資産税(4期)
- 農集排使用料(1月分)
- 後期高齢者医療保険料(6期)

# 第40回 只見ふるさとの雪まつり

2012 2/11(土)・12(日)

## サブ会場 只見スキー場

- ◆ 2月11日(土) 13:30 スノーシュー体験
- ◆ 2月11日(土)~12日(日) 10:00 スノーモービル体験

## サブ会場 季の郷湯ら里

2月10日(金)~19日(日)  
雪まつり協賛  
渡部等絵画展「雪蛍の郷を描く」

## 2月12日(日)

- 10:00 仮面ライダーフォーゼショー
- 11:00 郷土芸能発表
- 12:30 ゲームイベント
- 13:30 「エド・はるみ」お笑いショー
- 14:00 もと山レース(丸太早切り)
- 15:30 仮面ライダーフォーゼショー
- 16:00 「エド・はるみ」お笑いショー
- 16:30 復興祈願キャンドルナイト
- 17:30 カラオケ大会
- 19:00 ファイヤーパフォーマンス「不知火人」
- 19:30 天領只見仙獄太鼓
- 20:00 祈願花火大会(復興祈願花火・町民花火打上)
- 21:00 第2日目終了

## 2月10日(金) 前夜祭

19:00 大雪像ライトアップ

## 2月11日(土)

- 9:45 自衛隊音楽パレード
- 10:00 開会式・福餅まき
- 10:30 梁取太々神楽
- 11:20 自衛隊音楽隊雪中演奏
- 12:00 郷土芸能発表会
- 13:30 爆笑ものまねそっくりショー
- 15:00 只見音研歌謡ショー
- 16:00 復興祈願キャンドルナイト
- 17:30 雪中大御輿
- 18:30 厄払いの儀・おんべ
- 20:00 祈願花火大会(自然首都歓迎花火打上)
- 21:00 第1日目終了

みんなで復興がんばっぺ!

## 「雪むすめ」に委嘱状交付

第40回只見ふるさとの雪まつりを盛り上げてくれる「雪むすめ」2名が決定し、12月14日に目黒町長から委嘱状が手渡されました。今年の「雪むすめ」は「原育美さん(福井)」と「本名沙織さん(黒谷)」です。二人とも「雪まつりの成功と只見町の魅力を伝えられるよう頑張ります」と笑顔で話しました。よろしくお願いします。



## 保護司に 渡部由美子さん



平成23年12月1日付けで渡部由美子さん(黒谷)が、只見町担当の保護司として法務大臣の委嘱を受けました。保護司は犯罪や非行に陥った人の更生の支援や、犯罪予防の啓発などを使命とし活動します。任期は平成25年11月30日までの2年間です。

## 平成24年経済センサス 活動調査を実施します!

- 平成24年2月1日(水)を基準として実施します。
- 全国の全ての事業所・企業が対象です。
- 調査は、全産業分野の経済活動を同一時点で網羅的に把握する唯一の調査であり、「経済の国勢調査」とも呼ばれています。
- 調査結果は、国の各種行政施策をはじめ、地域の産業振興や商店街の活性化など、地域行政のための基礎資料として利活用されます。



調査票は、平成24年1月末日までにお届けしますので、2月1日以降に提出をお願いします。

1 支社等のない事業所等には、調査員がお伺いします。

2 支社等を有する企業等には、国・県及び市が民間業者を通じて調査を行います。

経済センサスの詳細については、キャンペーンサイトをご覧ください。  
経済センサス総合ガイド 検索

【問い合わせ先】  
○福島県庁統計調査課  
TEL: 024-521-7147  
○只見町総務企画課総務班  
TEL: 0241-82-5050

## 生活

## 朝日診療所Q&amp;A

こんにちは  
よひつねの？

Q ○○の薬が欲しかった。○  
○の薬は要らなかった。

A 診察が終わって、薬局に行  
って、帰宅して「○○の薬が欲  
しかった」とか「○○の薬は要  
らなかった」と言われる方がお  
られますが、薬を出すのは医師  
ですので、受付や薬局で勝手に  
処方を変更することはできません。  
薬を追加したり減らしたり  
するには、再度カルテを用意し  
診察した医師が処方を書き直す  
作業が必要で、その後の事務処  
理にも時間がかかります。

薬に関することは、診察のと  
きに忘れず医師にお話ください。  
話をしても、薬が処方されて  
いなかったり、不要な薬が処方  
されていたときは、お申し出く  
ださい。至急確認し対応します。

Q 腰や肩、頰、膝に注射をし  
てほしい。

A 「外科」に予約を入れてく  
ださい。午前中なら第2診察室、

午後なら第1診察室です。

午前中の第1診察室は「内科」  
ですので、予約の際は、ご注意  
ください。電話予約される際も  
注射を希望される方は、忘れず  
にお知らせください。

▼問い合わせ  
朝日診療所  
0241-8412221

## 農業者をめざす

## 奨学生

町では、将来只見町で農業に  
従事するため農業後継者育成を  
目的とする学校に在学する者に、  
その修学に必要な資金の一部を  
貸与する制度を設けています。  
希望者は、お問い合わせくだ  
さい。

## ●対象者

福島県農業総合センター農業  
短期大学校、財団法人日本農民  
教育協会鯉淵学園に在学してい  
る者。

※進学予定者も受け付けます。

※国または他の団体から同種の  
奨学資金の貸与等を受けてい  
ないことが条件となります。

●貸与額 月額 10万円以内

●奨学資金の返還及び免除規定  
学校を退学した場合や卒業後  
に農業に従事しない場合は返還

義務が生じます。ただし、卒業  
後直ちに町内において農業に従

## 町長室日誌

〈12月分〉

- 1日 簡易水道整備促進全国大会、全国山村  
振興連盟通常総会、国保制度改善強化  
全国大会、全国観光地所在町村協議会  
総会
- 2日 ダム・発電関係市町村全国協議会理事会、  
ダム・発電関係市町村全国協議会定例  
総会
- 5日 議案検討庁議
- 6日 福島県町村会監事会、東邦銀行業況説  
明会
- 7日 皆川タカネ氏百歳賀寿贈呈式
- 8日 一般質問検討庁議
- 9日 磯部ヲエン氏百歳賀寿贈呈式、実施計  
画町長査定
- 10日 森林の里・ふれあい広場
- 13日 只見町議会12月会議(～16日)
- 14日 雪むすめ辞令交付式
- 20日 国土交通大臣政務官との懇談会及び陳情、  
千葉県柏市長と面談、役場庁舎建設に  
係る住民説明会
- 21日 只見ふるさとの雪まつり第2回実行委員会、  
南会津地方広域市町村圏組合管理者会、  
南会津地方広域市町村圏組合議会臨  
時会及び全員協議会
- 22日 只見スキー場オープン式、西部環境衛生  
組合臨時議会
- 28日 仕事納め式

## 就学する学校の変更要件について

就学する小・中学校は、「只見町公立学校の通学区域に関する  
規則」によって指定されていますが、保護者からの申請によって  
通学区域外の学校に就学することが可能となっています。変更  
の具体的な要件について下記のとおりお知らせいたします。

## ■指定要件の変更

区 分	理 由
住所移転による理由	・学年途中の転居等により指定校が変更になるため、学期末まで現在の学校に通学したい場合 ・家の新築など転居が明らかであるためあらかじめ転居先の学校に通学したい場合
身体的な理由	・肢体不自由や病弱等の理由により通学に配慮が必要な場合
教育的な配慮の理由	・いじめや学校生活の不適應など、やむを得ない事情により指定された学校を変更したい場合
その他の理由	・その他教育委員会がやむを得ないと認めた場合

## ■手続き

指定した様式により只見町教育委員会に申請します。なお、詳しくは、  
教育委員会(電話82-5320)までお問い合わせください。

▼問い合わせ  
産業振興課農林班  
0241-8215230

## ●応募期限

平成24年2月24日(金)必着

## ●応募方法

事し、その後10年以上農業に従  
事した場合は返還が免除されま  
す。

●奨学資金貸与申請書(様式第  
1号)に、住民票、履歴書、健  
康診断書並びに申請者が在学す  
る学校長が発行した入学以後の  
学業成績表、学業及び人物に対  
する所見を記載した推薦書を添  
付し、産業振興課農林班に提出  
してください。

※奨学資金貸与申請書を希望さ  
れる方は産業振興課農林班ま  
でご連絡ください。

# 町民の消息

(12月1日～12月31日届出分) 敬称略

## ■お誕生おめでとうございます

目黒 美結 (みゆ)  
(女/良二・紀代美) 熊倉

## ■おくやみ申し上げます

渡部	アヤ子	99歳	塩沢
森	道江	92歳	大倉
山本	太一	61歳	蒲生
長谷部	三郎	89歳	黒谷
山内	茂平	86歳	梁取
五十嵐	フミエ	95歳	只見
菅家	伍助	81歳	黒谷
長谷部	フジノ	93歳	叶津
湯田	キミエ	96歳	長浜
折笠	未雄	88歳	蒲生
河原田	朋子	85歳	長浜
目黒	恵子	76歳	小林

# 人のうごき

平成23年12月1日現在

人口	4,849	(-7)
男	2,322	(-5)
女	2,527	(-2)
世帯数	1,854	(-)
高齢化率	41.4%	

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 9 転出 8 出生 1 死亡 9

## あとがき

▽本年もよろしくお願い申し上げます。昨年は日本、福島、そして只見町にとつて忘れることのできない、忘れてはいけない、想像を絶する出来事が起こり、特に福島では津波や原発事故により一部県民の生活が激変しました。同時に、人と人との絆の力、つながりの大切さを改めて感じた年でもありました。▽只見町は復興基本方針「水と森と人が共存するための道しるべ」にそって、より安全で安心して生活できる町づくりを町民の皆さんと進めます。復興へのエネルギー源は全町民の絆の力だと思えます。「がんばろう只見町」

まちづくり推進員  
若林 奈津子

朝日地区センター  
図書室 ☎84-2059

# おすすめ新着図書

## ★はげまして はげまされて



竹浪正造/著 (廣済堂出版)  
昭和29年から始まった正造さんの絵日記は今年で56年。36歳からの記録は、子どもの成長、結婚、孫の誕生、妻の入院、死別、娘の急逝など1日として途切れることなく現在も書き続けられています。家族を大切に思い合う、あたたかな家庭を感じるままに描かれ、家族の言葉もそのまま吹き出しで書かれて、読みやすく心のあたたかくなる本です。

## ★理想の惑星



井崎順夫/著 (幻冬舎ルネッサンス)  
鈴木秀夫は優秀なプログラマー。秀夫は突然見知らぬ惑星「プロスト」に宇宙船で移送されます。歳をとらず、通貨も政府も警察も裁判所もない惑星。案内人は「プロスト」はまさに理想の惑星だと秀夫に言います。果たして「プロスト」は、真に人類の求めた理想の惑星なのでしょうか？

## ★天使のかいかた



ながわちひろ/著 (理論社)  
さちが、のはらで拾ったのは、犬でも猫でもひよこでもなく、「天使」でした。「天使」を飼うことに決め、さちは、「天使」が喜ぶさちのおはなしを毎日「天使」に聞かせてあげます。さちと「天使」はいつでも一緒。ある日、さちのクラスに転校生がやってきます。そして・・・

★近日かいつゾロリシリーズの続編が入荷予定です。長編小説なども毎月入荷していますので、ぜひご利用ください。

★長期間借りたままになっている本はありませんか？図書室の正しい利用をお願いします。

# 町民憲章

- ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう



「だんごさし」は、ミズキの冬芽を折った先に、米粉のだんごを刺します

## ミズキ

*Swida controversa* ミズキ科

町内では「みずの木」と呼ばれます。枝先の樹皮が赤く華やかで、正月や小正月に五穀豊穡を願って飾る「だんごさし」に使われる木です。

ミズキは北海道から九州まで広く分布する落葉高木で、水の豊富な土壌を好み、只見川沿いなどで見かけます。落葉した冬に見分けるポイントは枝の付き方です。



ミズキの花

幹は上に向かって真っすぐのびますが、枝は水平に広がります。初夏になると、枝先の花序にたくさんの白い小花を咲かせます。

### 特別展示

#### ○森と生き物を描く ～平田美紗子イラスト展～

国有林を管理する森林官であり、一方では、雑誌『林業技術』に連載を持つイラストレーターとして活躍する平田美紗子さんの作品35点を展示しています。  
期間：開催中（3月25日(日)まで）

※この広報紙は再生紙を使用しています

皆様のご支援、ありがとうございます。

### 豪雨災害による支援

多くの皆様から、義援金やお見舞いをいただいております。  
誠にありがとうございます。いただきました支援金については  
災害復旧対策などのため有効に使わせていただきます。

義援金 9,192,002円 (215件)

見舞金 5,961,983円 (46件)

1月6日現在

※環境にやさしい大豆油インキを使用しています